
 *  *
 * 文化財ニュース *

第14号

発行 加古川市教育委員会
 編集 加古川市文化財審議委員会
 加古川市加古川町北在家23の1
 TEL ④ 1151

考古資料・民俗資料等を展示する

郷土資料館近く開館

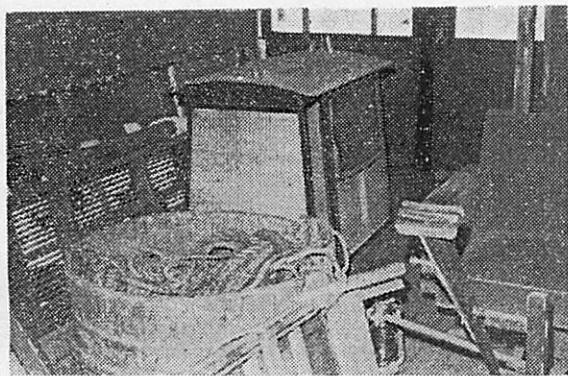
加古川市は、加古川の清流に恵まれ、太古の時代からたくさんの人々が生活していました。市内にはこれらの人々が残した数多くの文化財があります。

そして、これらの埋蔵文化財を発掘調査したときに出土した考古資料も非常に多く、現在、鶴林寺の旧宝物館を借用してこれらの考古資料を展示していますが

施設が狭隘なためその保存展示に大変苦慮しています。

また、私たちの祖先が使用してきた日常の生活用具や生産用具なども、生活様式の急激な変化によって使用できなくなったり、不用になって見捨てられたりして、私たちの周囲から姿を消していこうとしています。

これらの民具類は、私たちの祖先の生活の歴史を物語る貴重な民俗資料であり、学校教育や社会教育における貴重な学習教材であります。



収集された資料の一部

本市には、これまでこうした資料を保存したり展示することができる施設がなく、早急にこうした施設の設置が望まれていました。

幸い、昨年市民会館が完成して市民の大集会施設が

できましたので、これまで長らく市民の皆さんに親しまれ、利用されてきた旧公会堂を大改装して、市立図書館として市民の皆さんに利用していただくことになりました。

そして、これまで図書館として使用されてきた旧市議事堂は、考古資料や民俗資料等の郷土資料を保存し、展示する施設として活用するよう、現在準備を進めています。そして、市条例の制定やその他の準備ができ次第『郷土資料館』として使用する運びになっています。

しかし、郷土資料館として活用するにしても資料の保存展示等がもっとも望ましい姿で、効果をあげるようしようとすれば、一部手直しする等の必要もありますので、今すぐに開館というわけにはまいりませんが、整備ができ次第できるだけ早い機会に開館の運びにいたしました。

なお、こうした施設ができれば、内部に展示する諸々の資料が必要になります。教育委員会では、これまで多数の方々のご協力を得て資料の収集、保存に努めてきましたが、まだまだ充分というわけにはまいりません。

そこで、皆さんのご家庭で不用になった日常の生活用具や生産用具（例えば、台所で使用された炊事用具、灯火に関するランプやチョウチンなど、衣類に関するもの、食事に関するもの、農耕に使われた道具類、その他山仕事の道具、漁業に用いられた道具等）遊戯や娯楽に使われた品物などがございましたら、寄贈していただきたく存じますので、趣旨をご理解いただきご協力たまわりますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

連絡先 社会教育課文化係

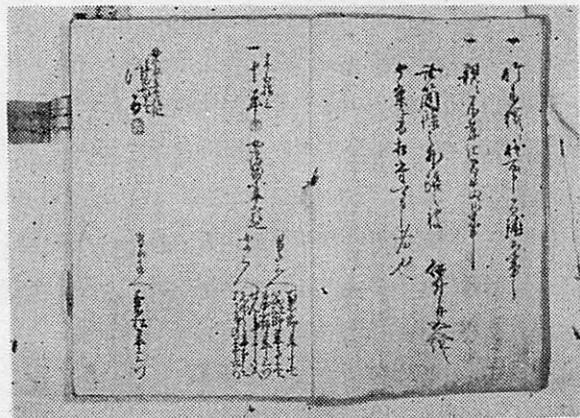
24-1151 内線 579

又は 23-3845 23-3846

市内にのこる

古文書調査について

教育委員会では、昭和47年度より市内の各家庭、寺院、神社等に保存されている古文書（例えば水利関係の文書、お祓に関する文書、寺や神社の行事に関する文書、古い手紙、許状、達状、下知状、遺言状その他の諸々の文書）について、文書目録を作成し記録保存することを目的として、専門の先生方に調査員をお願いして調査を実施しております。



調査した資料の一部

これらの文書類は、生活様式の変化とともに家的新築、改築等に際して破られたり焼却されたりすることが多く、現在残っているものは少なくなっていますが、私たちの祖先の生活様式や生活の状態を知るうえで、非常に貴重な資料になるものです。

この調査は、文書を1枚づつ写真に収め、これを整理して最終的に内容を解読する必要があり、大変な手数を要し、早急に作業を進めることができない調査で、大変地味な仕事であります。これにあたっていただいている調査員の先生方は、日曜や休日を利用して調査を進めていただいております。

調査員は、県立図書館設立準備室の中西千朗先生を中心としたメンバーにお願いしておりますので、古文書をお持ちの家庭、寺院、神社等へお伺いした時には、調査にご協力たまわりたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、この調査で作成した目録は、将来市史編集等の参考資料として使用する計画をもっております。

ここに、これまで整理できた資料目録の一部を掲載いたします。

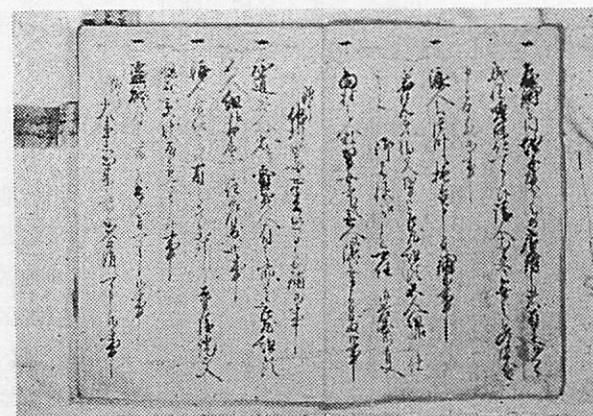
前川家文書目録

旧地名 播磨国印南郡里村
所蔵者 前川清平
所在地 加古川市平荘町里490番地

No.	史料名	年代	史料内容	数
		寛永3.11.12. 13.14.15 16.17.18 19.20.21 年 ↓		
1~1	免相之事	正保、慶安 承応、明歴 万治、寛文 延宝、天和 貞享、元録 宝永、正徳 享保、寛延 宝暦、明和 安永、天明 寛政、享和 文化、文政 天保、弘化 嘉永、安政 文久、元治 慶応、明治		195
1~195				
2~1	御院宣写	正和、文保 ↓ 文明、享録	赤松氏代 々の添状 写し	1冊
2~7				
3~1	報恩寺書付写	正和、建武 ↓ 永正	花園院の 院宣写し	1冊
3~5				
4~1	全上	観応～享録	院宣の写 し	1冊
4~4				
5	(表題不詳)	天正14年	平村と益 田村の草 場出入	1通
6	相定申山之走り 水澄文之事	寛永19年4月	写し共	2通

7	御身ニ御遣被成 候川舟之覚	慶安3年8月	古高瀬舟 持人の書付	1通		明新畠百姓内改 帳				
8.9	覚	慶安3年5月	壁書の写	2通	32-1	手形之事	享保2年7月	天下原村 百姓の下 草刈の詫 状	1通	
10	印南郡里村新田 改帳	承応2年4月		1						
11	印南郡中嶋新村 新畠改帳	承応2年4月		1	32-2	手形之事	享保2年7月		1〃	
12	井掛町数	明暦1年11月		1	33	仕申取替証文之 事	享保4年7月	向河原出 入の済証 文	1〃	
13	新林運上ニ相定 申付之事	明暦2年4月		1	34	大川芝地都染組 池尻村益田村中 村組大野村出入 ニ付書付	享保9年8月		1〃	
14	里村新田畠改帳	寛文4年8月		1	35	御代々御下札書 出し改帳	元文2年2月		1冊	
15	印南郡都染組里 村新田改帳	寛文8年9月		1	36	明細帳 都染組 里村	寛保2年		1〃	
16	印南郡里村新田 改帳	寛文9年3月		1	37	明細帳 都染組 内之倉新田	寛保2年		1〃	
17	印南郡里村新田 改帳	寛文10年4月		1	38	蔵普請諸入用人 足覚帳	寛保2年12月		1〃	
18	印南郡里村新田 検地帳	延宝3年4月		1冊	39	覚	寛保4年		1通	
19	権現池絵図	天和3年4月		1枚	40	覚	延享4年7月		1〃	
20	指上ヶ申手形之事	天和3年11月		1通	41	諸入用帳	明和5年2月		1冊	
21-1	絵図御裏書寫	天和3年11月		1〃						
21-2	取替シ申一札之 事	貞享1年7月		1〃						
21-3	取替シ申證文之 事	貞享1年7月		1〃						
21-4	乍恐差上候願書 之事	寛政4年2月		1〃						
22	印南郡里村新村 検地帳	貞享1年9月		1冊						
23	全上	貞享5年9月		1〃						
24	全上	元録3年9月		1〃						
25	里村絵図	元録6年6月		1枚						
26	印南郡中嶋新田 検地帳	元録8年9月		1冊						
27	指上ヶ申手形之事	元録15年2月		1通						
28	指上ヶ申手形之事	元録15年12月		1〃						
29	家普請材木大工 諸事覚帳	宝永6年11月		1冊						
30	都染組里村辰ノ年 明新畠百姓内改 帳	正徳2年10月		1〃						
31	都染組里村未ノ年	正徳5年4月		1〃						

その他を合わせて合計 698点



調査した資料の一部

文化財資料頒布お知らせ

教育委員会では、文化財に関するいろいろな資料を発行しておりますが、もっとも最近に発行したものは、さきの文化財ニュースでもご案内しておりました『郷土のおはなしとた第1集』で、すでに多くの方にご愛読いただいておりますが、まだご存知ない方のために、これまでに発行した資料と合わせてお知らせいたします。

なお、これらの資料は、加古川市教育委員会社会教育課文化係で取扱っていますので、ご入用の方は代金を添えてお申し込みください。

(TEL24-1151番 内線579番)

資料名	領価	内容
岸遺跡発掘調査報告書	円 200	西神吉町岸の縄文・弥生遺跡発掘調査の報告書
印南野 その1	1,500	平荘湖内古墳群発掘調査の報告書
印南野 その2	1,000	全上
天坊山古墳	1,000	上荘町小野地内天坊山頂の古墳発掘調査の報告書
中山	1,000	平荘町中山地区の民俗調査の報告書
郷土のおはなしとた 第1集	600	市内にのこる民話・伝説・民謡等を収録したもの、第1集は旧加古川町・氷丘・神野・別府の各地区で収集した



頒布している資料

市誌 第1巻	3,000	もので編集している 旧加古川町編
市誌 第2巻	5,000	別府町編

『郷土のおはなしとた第2集』

資料収集始まる

私たちの郷土には、自然を友として生活してきた祖先の生活の記録であり、感情の表現でもある民話や伝説、民謡等が多数のこされており、現代の私たちの魂の中にも、こうした人間味あふれる祖先の温かい血汐が、脈々と受けつがれています。

教育委員会では、さきに旧加古川町、氷丘、神野、別府の各地区にのこされているものについて、すでに『郷土のおはなしとた第1集』に収録して発行し、市民の皆様にご愛読いただいておりますが、引きつづいて第2集を発行するため、下記の方々を収集委員にお願いして資料の収集にあたっていただいております。

については、市民の皆さんのが存知のお話や唄等がございましたら、担当地区の収集委員までお知らせしていただきか、収集委員が話を聞くためにお伺いした時には、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、資料を提供してくださった方々は、本の中にお名前を銘記させていただいております。

この第2集は、昭和50年3月に発行を予定しております。

収集委員の方々

担当地区	氏名	住所	電話
鳩里地区	吉田実然	加古川町北在家	②2563
野口地区	長谷川慶明	野口町野口	②7189
八幡地区	馬田 力	八幡町野村	③2556
平荘地区	長山 晋	平荘町小畠	③0190
東神吉地区	神吉逸郎	東神吉町神吉	③1234